

京田辺市の緑に関するアンケート調査票

1. あなたご自身のことについて教えてください

【問1】 あなたの居住地域を教えてください。（1つに○）

- ① 松井、大住
- ② 山手東、山手西、山手南
- ③ 松井ヶ丘、花住坂、大住ヶ丘
- ④ 薪、田辺、田辺中央、河原、興戸
- ⑤ 東、草内、飯岡
- ⑥ 三山木、三山木中央、宮津
- ⑦ 同志社山手
- ⑧ 多々羅、普賢寺、水取、打田、天王、高船

京田辺市の現状について、統計データをまとめました！



©22-036

【問2】 あなたを含む、あなたのご家族は京田辺市に何年お住まいですか。（1つに○）

- ① 5年未満 ② 5年以上20年未満 ③ 20年以上50年未満
- ④ 50年以上、または先祖代々市内に居住

【問3】 あなたの年齢を教えてください。（1つに○）

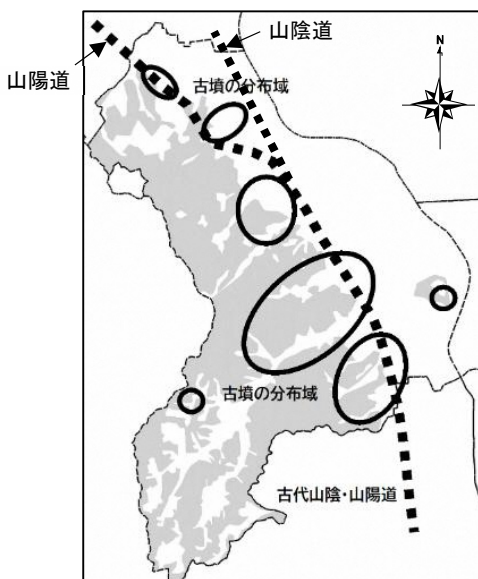
- ① 18または19歳 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
- ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳以上

【問4】 あなたの性別を教えてください。（1つに○）

- ① 男性 ② 女性 ※ 戸籍上の区分とは別に、ご自身の主観で結構です。

2. 京田辺市をとりまく緑の環境

【古墳時代から奈良時代へ】



■京田辺市の歴史と緑

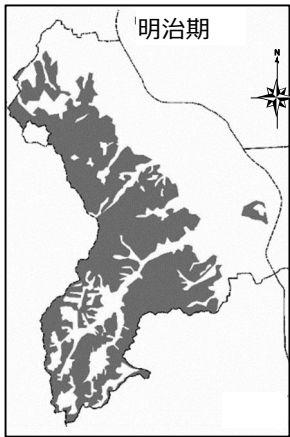
ヤマト王権が支配した古墳時代の地方豪族の墳墓が近畿各地に残り、市内にも飯岡丘陵の飯岡車塚古墳や大住車塚古墳、天理山古墳など多数の古墳があります。

奈良時代になると、奈良の都から大宰府へ通じる山陰・山陽道が市内を通り、現在の三山木地域には「山本駅」が設けられ、交通の要衝として栄えました。

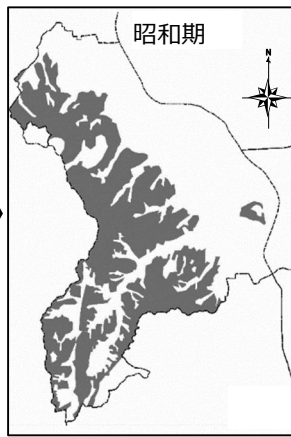
現在の自然が身近にあり、交通の利便性高い本市の特徴は、古代からの長い歴史により形づくられてきました。

左の地図の凡例 点線：推定される古山陰・山陽道
○の囲み箇所：古墳分布域

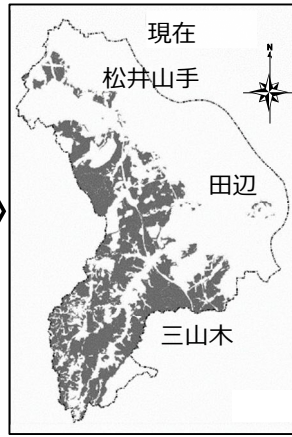
【京田辺市域 森林範囲の変化】



■明治時代(1910年頃)
・クヌギ・コナラなど薪炭林
と農地が市域の大半



■高度経済成長(1970年頃)
・森林の開発が始まる
・北部地域の宅地開発が始まる



■今日(2020年以降)
・優良農地の開発は規制

・明治時代以降の森林の変化です(塗りつぶしている箇所が森林の範囲)。市域の西側は里山林、東側はまとまった農地が守られ、住宅地の東西は緑で挟まれています。
・本市は、市街地と里山・農地が近接する恵まれた環境と交通の利便性から人口増加が続いています。

【問5】 あなたが市内で、気軽にふれあったり、見て楽しんだりする緑はどれですか。また、その頻度はどのくらいですか。(3つまで○)

	①ふれあったり楽しんでいる緑 (あてはまるもの3つまで○)	②頻度 (左記で○をつけたものについて、記入。 記入例: 月または週に何回、毎日など)
(1)郊外に広がっている 「田んぼ」や「畑」		
(2)田辺公園や近所にある「公園」や「緑地」		
(3)市街地の緑としての 「街路樹」		
(4)遠くに見える山並みなどの 「山」や「森」		
(5)寺社や古墳などの文化財 「文化財の緑」		
(6)学校や市役所など 「公共施設の緑」		
(7)市街地などの 「商業施設の緑」		
(8)家や近所で見かける 「庭やプランターの花」		
(9)その他(_____)		

【問6】 あなたの身のまわりの緑のうち、関心のある範囲をお聞きます。(あてはまる方に○)

設 問	選 択 肢	
(1) 家の中や自宅の庭にある植物	① 関心がある	② 関心がない
(2) 家の前や近隣の街路樹など緑全般	① 関心がある	② 関心がない
(3) お住いの地域の緑全般	① 関心がある	② 関心がない
(4) 市内全域の緑全般	① 関心がある	② 関心がない

【問7】 あなたが関心のある緑を守るために、どのような取り組みを進めるとよいと思いますか。(3つまで○)

- ① 緑の知識を深める講習会の実施
- ② 公園や街路樹など身近な緑の保全
- ③ 農地など田園景観の保全
- ④ 古墳など歴史的文化財の緑の保全
- ⑤ 里山・山林など森林風景の緑の保全
- ⑥ 住宅や企業、工場など私有地の緑化
- ⑦ その他(_____)



【問8】 緑を使った趣味や健康^{けんこう}※づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。(あてはまるものに各1つずつ○をつけてください。)

	①すでに取り組んでいる	②今後取り組みたい	③取り組む予定はない
(1)花や緑を楽しみながら、散歩やジョギング、サイクリングをする			
(2)自宅のベランダや庭で、花や野菜、ハーブなどを育てる			
(3)緑化や園芸の知識を増やすための講習会へ参加			
(4)農業体験、貸し農園で野菜を栽培			
(5)自然観察会など、緑や生き物を学ぶイベントに参加			
(6)その他 ※何かあれば記入ください (_____)			

※本市では、健康と幸せを組み合わせた「健康(けんこう)」をキーワードに一人ひとりの健康づくりを応援しています。

【問9】 緑をもっと楽しむために、必要なものは何ですか。問8で「取り組む予定はない」と回答された方については、何が支障となっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ① 緑を増やしたり、守ったりするための知識
- ② 緑化イベントや講習会等の情報
- ③ 自宅や所有地を緑化するための技術的支援
- ④ とともに活動する仲間
- ⑤ 活動を進めるリーダー
- ⑥ 経済的支援
- ⑦ 活動場所
- ⑧ 時間(仕事や子育て、介護等で活動する時間がない)
- ⑨ 関心(緑の分野に興味がない)
- ⑩ その他 (_____)



【問10】 緑をもっと楽しむために、本市の施策にあるどの分野と連携していくことが有効だと思いますか。(2つまで○)

※ 参考事例は、下の写真を参照

- ① 健康 :ウォーキングやサイクリングで木陰や休憩場所を整備して活動を広める
- ② 福祉 :野菜づくりやハーブづくりで、くつろげる居場所や生きがいとなる場を提供する
- ③ 観光 :文化財や水辺、カフェ等をつなぎ、周遊ルートの整備と地域活性化を進める
- ④ 防災 :広場や並木、森林で、災害時の被害を軽減して地域の防災機能を高める
- ⑤ 交流 :緑を活かした活動をきっかけとして、地域で仲間とコミュニティを広げる



「① 健康」の事例
・みんなで歩こうウォーキング
(水辺の散策路コース)



「② 福祉」の事例
・認知症の人や家族を地域でつ
なぐありがとうガーデン



「③ 観光」の事例
・天理山古墳群 現地説明会



「④ 防災」の事例
・興戸地藏谷公園
での防災訓練

「⑤ 交流」の事例
・すてきなまちなみ支援事
業で公共施設サポーター
として、公園や道路など
の美化・緑化活動に参加



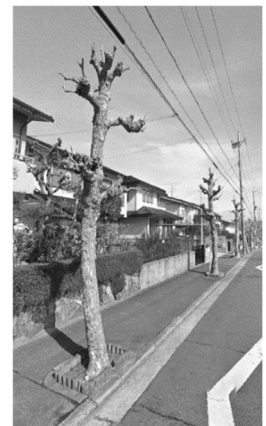
【問11】 普段目にされる街路樹についてお聞きします。街路樹の手入れについて、何を大事にするべきだと思いますか。(2つまで○)



©22-039

街路樹には、「美しい景観をつくる、木陰が休憩スポットとなる、大気浄化、延焼抑制、歩道と車道の分離」などの役割がある一方で、「落ち葉が多い、虫がつきやすい、信号や標識を隠して見通しが悪い、根が歩道に上がり段差ができる」などの困ったこともあるんだ。

- ① 落ち葉を少なくし虫がつかないようにするため、枝が伸びすぎる前に剪定を行う
- ② 樹形を整える程度に剪定を行い、景観に配慮した維持管理を行う
- ③ 歩道が狭く、歩行者が安全に歩けない区間では、街路樹を無くすことを考える
- ④ 道路やまちなみに特徴づけた樹種へと植え替える
- ⑤ 落ち葉拾いや除草、水やりなど日常の街路樹管理を行う市民へ行政が支援を行う
- ⑥ その他 (_____)



落ち葉を減らすために強く剪定したプラタナス

3. 公園

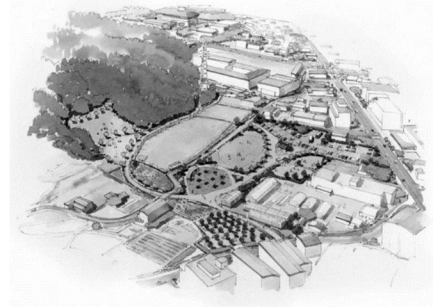
・公園の数は、開発などに伴い年々増え続けており、維持管理費も増加傾向です。

◇都市公園数の推移

平成13年:107箇所 → 平成24年:150箇所 → 令和4年:166箇所

◇都市公園の種類と数

- 総合公園 1箇所(田辺公園)
- 近隣公園 3箇所(諏訪ヶ原公園、防賀川公園、
同志社山手さくらの丘公園)
- 運動公園、緑道、緑地 6箇所
- 街区公園 156箇所(住宅地にある身近で小さな公園)



■田辺公園拡張整備事業(イメージ)
農福連携をテーマに民間事業者と連携して整備・運営を行えるよう準備を進めています。

※ 以下、本アンケートにおいて、街区公園を「小さな公園」と呼び、それ以外の公園を「大きな公園」と呼びます。

- ・公園の内訳では、小さな公園が94%を占めています。
- ・小さな公園は、地元の区・自治会に日常的な清掃や除草、低木の剪定をお願いしています。
- また、高木の剪定は市が行っています。

【問12】 あなたは、公園をどのように利用していますか。(いくつでも○)

- ① 遊び(子や孫の付き添い含む) ② 運動
- ③ 散歩(ペットの散歩含む) ④ 休憩・リラックス
- ⑤ ジョギング・ランニング ⑥ 仲間や地域の人々との集いや交流
- ⑦ 市内の公園を利用しない ⑧ その他(_____)

【問13】 あなたがよく利用する公園があれば、公園名とその利用頻度を具体的に教えてください。

記入欄
(公園名の記入例:田辺公園、近所の公園 など)
(利用頻度) 月に 回、週に 回、毎日、その他()

【問14】 よく利用している公園を選んでいる理由、さらに改善して欲しい内容があれば、お教えてください。

設 問	記 入 欄
① 選んでいる理由	
② 改善して欲しい場所・内容	

【問15】今後、市が大きな公園を作るとき、どんな施設があるとその公園に行きたくなりますか。
(3つまで○)

- ① 芝生広場や休憩所など、オープンスペースが充実した安らげる公園
- ② レストラン、カフェや売店など、食事や買い物ができる公園
- ③ 防災トイレやかまどベンチなど、防災機能が充実した公園
- ④ 障がいの有無に関わらず、すべての子どもと一緒に遊べる遊具が整備された公園
- ⑤ ペットといっしょに遊べるドッグランなどが設けられた公園
- ⑥ 植物や水辺など、子どもが自然を体験できる公園
- ⑦ 野球などのボール遊びや球技ができる公園
- ⑧ 駐車スペースが整い、公共交通も利用できるアクセス便利な公園
- ⑨ その他 (_____)

【問16】小さな公園の中には、地域の子どもの数が減ったことなどにより、あまり利用されていないものがあります。

そのような公園を、市民のみなさんに気持ちよく使っていただくには、地域のニーズに合わせることや、公園ごとの特徴や魅力を持たせることが必要と考えられます。

そのために、当てはまるものはどれでしょうか。(3つまで○)

- ① 既存の遊具から地元の希望に合わせ、別の遊具にする
- ② 遊具を撤去して、オープンスペースや休憩所として活用する
- ③ 花壇やハーブ園、小さな農園として活用する
- ④ 利用方法を、地域の人たちで検討する
- ⑤ このままでよい
- ⑥ その他(_____)

【問17】市内の全ての公園では、事前に許可をした場合を除き、危険なボール遊び、火気・花火の使用や犬の散歩をしないようになどお願いをしています。

5,000㎡以上の下表の公園が、もっと利用しやすくなるように、ルールを定めた上で行ってほしいと思うものはどれですか。

(当てはまる方に○)

設 問	選 択 肢	
(1)野球やサッカーなどのボール遊びをしてもよい	① そう思う	② そう思わない
(2)公園内でバーベキューをしてもよい	① そう思う	② そう思わない
(3)手持ち花火をしてもよい	① そう思う	② そう思わない
(4)犬の散歩をしてもよい	① そう思う	② そう思わない
(5)自転車に乗る練習をしてもよい	① そう思う	② そう思わない

5,000㎡以上の対象公園	
諏訪ヶ原公園	防賀川公園
同志社山手さくらの丘公園	大住ヶ丘公園
花住坂中央公園	鶴沢公園

【問18】 市内の全ての公園で、みんなが気持ちよく公園を使えるようにするために、何が重要だと思いますか。 (いくつでも○)

- ① 高木は、生き物の生育や景観に配慮して、樹形を整える程度の剪定を行う
- ② 毛虫や落ち葉の対策のため、枝が伸びすぎないように高木を剪定する
- ③ わかりやすい公園のルールを、目立つ場所に表示する
- ④ 区や自治会に依頼している小さな公園の清掃や除草などに対し、支援を強化する (補助金等)
- ⑤ その他 (_____)

4. 市民と行政、事業者との協働

・緑に対する市民のニーズが多様化しています。地域の課題を解決していくために、市民のみならずと行政、事業者が、力を合わせる「協働」の取り組みを盛んにしていくことが求められます。
 ・他方、区や自治会で行っていただいている公園の清掃は、高齢化などで負担が大きいという声もあります。

【問19】 身のまわりの緑や公園を活用し、京田辺市を住みやすいまちにするために、あなたが取り組みたいと思う活動はありますか。 (あてはまるものに、1つずつ○)

	①すでに 取り組ん でいる	②今後、 取り組ん でみたい	③取り組 みたいと 思わない
(1)民間事業者と協力して、地域の公園の維持管理に取り組む			
(2)市の支援を受けながら、公園や緑地の清掃や花壇づくりに参加する(すてきなまちなみ支援事業等)			
(3)森林の保全活動に参加する (植樹、レクリエーション活動、学習等)			
(4)農作業を支援するボランティアに参加する			
(5)野生動植物の保護活動に参加する (ホタルや希少動植物の保護、生物多様性の学習活動)			
(6)公園利用のルールづくりをみんなで考える			
(7)公園や緑地でのイベント開催など、地域の人たちが交流する組織づくりに取り組む			
(8)その他 ※何かあれば記入ください (_____)			

【問20】 現在実施している本市の緑化推進・支援事業について、効果的だと思いますか。 (いくつでも○)

- ① 地域や学校に、パンジーなど花の苗を提供する
- ② 誕生記念樹として観葉植物やブルーベリーなどの苗木を市民へ提供する
- ③ 市の公園などに、市民記念植樹をする
- ④ 市民の生垣の設置費用を補助する
- ⑤ 市民まつりなど、イベントで花の苗を安く販売する
- ⑥ 地域で行う草刈りに、自走式の草刈り機を貸し出しする

【問21】市内の緑を守り続けていくために、行政はどのような活動との「協働」を深めていく必要があると思いますか。（1つに○）

- ① 区・自治会など、地域で取り組んでいる活動を、これからも維持していく
- ② NPOや市民団体など、関心の高い市民で取り組む活動を、これまで以上に盛んにしていく
- ③ 地域の課題を企業とともに解決していく活動を、新しく模索していく

5. 緑の将来像及び自由記入

【問22】京田辺市の10年後の緑の姿について、共感できるものは何ですか。（3つまで○）

- ① 住まいの身近なところに自然がある
- ② 街にするとところ、田畑や森林等の緑を残すところを計画的に分ける
- ③ 趣味や散策、スポーツの場面で活用できる緑がある
- ④ 公園や街路樹の緑の手入れが行き届き、景観が保たれている
- ⑤ 山林や農地が適度に配置されている
- ⑥ 生物多様性にも配慮し、手つかずの自然が残されている
- ⑦ 古墳や社寺林など歴史や文化を感じ、未来へ受け継ぐ緑がある
- ⑧ 人をひきつけるような緑を創出し、観光促進できる緑がある
- ⑨ 市民、行政、事業者が連携し、緑を保全し、維持管理できる仕組みができている
- ⑩ 現状のままでよい
- ⑪ その他（ _____ ）

【問23】本市の緑や公園の魅力を高めていくアイデアやご意見など、自由に記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

記入いただいた調査票は、同封の 返信用封筒（切手不要）に入れて、令和4年12月23日（金）までに 郵便ポストに投函 ください。お願いいたします。

※ なお QRコード で回答いただいた方は、郵送は不要 です。

お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。